



























連系設備		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
北海道本州間 連系設備	順	運用容量	900	900	900	900	900	900	900
		予備力等マージン※1,4	449	460	420	420	420	420	420
		空容量※2	451	440	480	480	480	480	480
	逆	運用容量	-900	-900	-900	-900	-900	-900	-900
		予備力等マージン※1,4	-799	-810	-770	-770	-770	-770	-770
		空容量※2	-101	-90	-130	-130	-130	-130	-130
	予想潮流※3	0	0	0	0	0	0	0	
東北東京間 連系線	順	運用容量	5,530	5,530	5,530	6,230	6,230	6,230	6,230
		予備力等マージン※1	28	40	0	0	0	0	0
		空容量※2	5,502	5,490	5,530	6,230	6,230	6,230	6,230
	逆	運用容量	-2,360	-2,360	-2,360	-2,360	-2,360	-2,360	-2,360
		予備力等マージン※1	-29	-40	0	0	0	0	0
		空容量※2	-2,331	-2,320	-2,360	-2,360	-2,360	-2,360	-2,360
	予想潮流※3,5	4,361	5,268	5,218	5,216	5,208	5,207	5,207	
東京中部間 連系設備	順	運用容量	1,200	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
		予備力等マージン※1,4	600	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		空容量※2	600	600	600	600	600	600	600
	逆	運用容量	-1,200	-2,100	-2,100	-2,100	-2,100	-2,100	-2,100
		予備力等マージン※1,4	-600	-1,500	-1,500	-1,500	-1,500	-1,500	-1,500
		空容量※2	-600	-600	-600	-600	-600	-600	-600
	予想潮流※3	-350	-350	-300	-300	-300	-300	-300	
中部関西間 連系線	順	運用容量	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170
	逆	運用容量	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500	-2,500
	予想潮流※3	-889	-879	-819	-819	-819	-819	-819	
中部北陸間 連系設備	順	運用容量	300	300	300	300	300	300	300
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	300	300	300	300	300	300	300
	逆	運用容量	-300	-300	-300	-300	-300	-300	-300
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	-300	-300	-300	-300	-300	-300	-300
	予想潮流※3	-275	-275	-275	-275	-275	-275	-275	
北陸関西間 連系線	順	運用容量	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810
	逆	運用容量	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300	-1,300
	予想潮流※3	-51	-51	-51	-51	-51	-51	-51	
北陸フェンス	順	運用容量	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	逆	運用容量	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810	-1,810
	予想潮流※3	-224	-224	-224	-224	-224	-224	-224	
関西中国間 連系線	順	運用容量	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2,6	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780
	逆	運用容量	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2,6	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150	-4,150
	予想潮流※3,7	-1,356	-1,305	-1,183	-1,183	-1,183	-1,183	-1,183	
関西四国間 連系設備	順	運用容量※8	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2,8	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
	逆	運用容量	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400	-1,400
	予想潮流※3	-1,330	-1,330	-1,330	-1,330	-1,330	-1,330	-1,330	
中国四国間 連系線	順	運用容量	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	逆	運用容量	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200	-1,200
	予想潮流※3	5	9	9	9	9	9	9	
中国九州間 連系線	順	運用容量	210	210	210	210	210	210	210
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	210	210	210	210	210	210	210
	逆	運用容量	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780
		予備力等マージン※1	0	0	0	0	0	0	0
		空容量※2	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780	-2,780
	予想潮流※3	-2,403	-2,405	-2,283	-2,283	-2,283	-2,283	-2,283	

- ※1. 予備力等マージン（予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン）は、間接オークション移行後に適用される変更後の業務規程に基づき、実需給断面におけるマージンが必要な場合を除き、原則としてマージンの値をゼロで設定した。
- ※2. 本表の空容量とは「運用容量－予備力等マージン」をいい、間接オークション移行後にスポットに供されるものをいう。よって、空容量の中に予想潮流が含まれることになる。
- ※3. 予想潮流は、2020～2025年度は経過措置計画の対象となる2016年度長期連系線利用計画の合計値とし、2026～2027年度は2025年度と同じとした。
- ※4. 北海道本州間連系設備、東京中部間連系設備は、マージンに増強分の容量を加算している。
- ※5. 「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画(H29.2.3策定)」にて示された短工期対策（2020年度以降+50万kWの見込み）分を反映している。
- ※6. 「空容量＝運用容量－予備力等マージン」で算定しており、フェンス潮流や地内潮流分は考慮していない。なお、スポット入札時以降は、フェンス潮流や地内潮流分を考慮して空容量を算定する。
- ※7. 2016年度長期連系線利用計画の合計値であり、フェンス潮流や地内潮流分は考慮していない。
- ※8. 関西四国間連系設備（順方向）は、関西四国間連系設備の運用容量を記載。スポット入札時以降は、四国エリア内の橋湾発電所の出力、南阿波幹線の運用容量、関西四国間連系設備の計画潮流を考慮するため、「空容量＝運用容量－予備力等マージン」とならない場合がある。

## 年間・長期の連系線空容量の公表について

業務規程第 133 条に基づき、2018～2027 年度の連系線空容量（年間計画・長期計画）を算出しましたので、これを系統情報サービスに公表します。年間の公表は 2018 年 3 月 15 日、長期の公表は 2018 年 3 月 31 日を予定しています。

### 注意事項

#### （1）年間連系線空容量（2018～2019 年度）

システムの追加混雑処理に時間を要するため、追加混雑処理対象となる連系線の対象断面の空容量等（空容量、計画潮流）を別途算定いたします。算定でき次第、修正し、お知らせいたします。

#### （2）長期連系線空容量（2020～2027 年度）

長期計画は、対象期間が間接オークション移行後となることから、間接オークション移行後のルールに基づき、空容量と予想潮流を公表します。また、予想潮流については、経過措置計画の対象となる 2016 年度長期連系線利用計画の合計値を公表します。

なお、長期連系線空容量（2020～2027 年度）は、系統情報サービスの「その他情報＞各種情報参照＞各種情報＞空容量」に掲載されます。

### 関連リンク

[2018（平成 30）年度年間連系線利用計画（空容量算出用）の容量登録等について](#)  
[長期・年間連系線利用計画の計画提出等について](#)

## 2018（平成30）年度年間連系線利用計画（空容量算出用）の容量登録等 について

年間・長期の連系線空容量が決定しましたので、以下のとおり、2018年3月に受け付けた年間連系線利用計画の容量登録等を行います。

但し、間接オークション導入後は、今回の容量登録分を含む全ての容量登録は無効となります。

### 1. 容量登録の対象となる連系線利用計画及び対象期間

- ・対象計画：2018年3月1日17時までに当機関が受け付けた年間連系線利用計画（空容量算出用）
- ・対象期間：2018年度～2019年度（平成30年度～平成31年度）

### 2. 2018（平成30）年度年間連系線利用計画の容量登録について

当該年間連系線利用計画（空容量算出用）に基づき、「容量登録」、「送電可否判定結果の通知」及び「混雑処理の通知」を実施します。実施日は2018年3月14日を予定しています。

### 3. 注意事項

システムの追加混雑処理に時間を要し、一部の連系線利用計画において正しい可否判定結果（容量登録値）の通知が来ていない銘柄があります。当該事業者様には、算定され次第、別途、正しい可否判定結果をお知らせいたします。

#### 関連リンク

[年間・長期の連系線空容量の公表について](#)

[長期・年間連系線利用計画の計画提出等について](#)